

昨年度評価(H29年度)								
【重点事業】評価と現状認識								
※	1_事業名	2_年度目標	3_達成 状況	4_29年度 決算①	5_30年度 予算②	6_差 (②-①)	7_評価と現状認識	8_所属
24	豊明市公共施設適正配置計画策定事業	施設の複合化に関するワークショップを開催し、小中学校複合化に関する調査研究結果をまとめる。	△	0	1,946	1,946	公共施設適正配置計画は、本市における重要な課題であり、慎重に計画策定を進めていく必要がある。30年度に三崎小学校で予定している公共施設複合化のワークショップ事業以外にも、地域住民の意見等を参考にしながら、計画策定に向けて取り組んでいく。	企画政策課
27	まちづくり推進・管理事業	まちづくり指標の調査結果がまとまり、行政評価などに利用する。	○	1,110	1,246	136	まちづくり指標の調査結果は、市民の満足度を確認するうえでの客観的な数値であり、各事業を評価する際に活用している。今後はこの数値の更なる活用を検討していきたい。	企画政策課
25	社会保障・税番号制度対応ネットワーク再構築事業	社会保障・税番号制度を開始できるよう様々なテストを確実に実施し、10月からの運用を行う。	○	9,162	9,019	-143	マイナンバーを活用して社会保障関係の資格給付情報や所得など税情報を紐づけて管理することにより、業務を効率化し、国民の利便性を高め、公平・公正な社会を実現する為の第一歩として、昨年11月から本格運用に入った。現状、特に大きな障害もなく、順調に運用されている。	情報システム課
8	地域公共交通活性化協議会負担金事業	公共交通網形成計画に基づき事業を実施する。	○	4,354	4,992	638	地域公共交通網形成計画を作成し、ひまわりバス路線の再編や地域路線導入に向けての話し合いを、地域住民とともに進めてきた。今後は更なる利用者の増加のために、利用促進策やPR活動を進めていく。	とよあけ創生推進室

※事業が関連するめざすまちの姿の番号です。

「2_年度目標」から「6_差」の内容は、各所属の重点事業整理表からの転記です。

昨年度評価(H29年度)							
【主たる中施策事業】評価と現状認識							
※	1_事業名	2_進捗状況	3_29年度決算①	4_30年度予算②	5_差(②-①)	6_評価と現状認識	7_所属
25	職員研修事業	A	5,470	6,116	646	窓口サービスの向上に向けて、管理職の朝のあいさつ運動を実施するとともに、庁内放送や朝礼時にも、市民との接客を念頭において、元気で明るく話しかけるよう意識づけを行ったが、まだ目標とするレベルには達していない。また、職員おもてなしアンケートは2年目を迎え、一定の高評価を得ている。	秘書広報課
26	ホームページ管理事業	B	6,578	1,350	-5,228	市民や事業者にとって必要な情報をわかりやすく提供するために、ホームページのリニューアルを行った。スマートフォンやアクセシビリティへの対応が可能となり、導入前に比べてアクセス件数は増加している。	秘書広報課
27	総合計画進捗管理事務	A	1,229	1,246	17	総合計画マネジメントとして、行政評価・実施計画・業務改善を連動させる形で実施し、一定の成果を得た。政策の判断に際して、部内にある多くの課題の中から優先順位をつけたり他部署との連携を検討する等、市役所全体の視点から、政策の判断がし易くなった。今後はまちづくり指標の調査結果の活用について、検討する必要がある。	企画政策課
24	公共施設マネジメント推進事業	B	26	1,946	1,920	今後の公共施設のあり方については、大きな課題ではあるものの、四半世紀以上かけて実施していく先の見えにくい事業である。計画策定には将来の財政状況や人口の増減、地域ニーズの変化等も想定しながら、地域住民と共に、公共施設のあり方を考えていくことが大切である。	企画政策課
25	庁内機器及びシステム導入・運用管理事業	A	76,935	84,228	7,293	庁内情報システムのより安定かつ安全な運用を図るため、ネットワークの3系統分離を行い安全性を高めることができた。システム導入は適宜見直しを行い、費用対効果や全体最適化を考慮した調達を行っている。	情報システム課
25	マイナンバー法関係事務	A	9,162	5,858	-3,304	ICTを活用したサービスは、今後もさらに増加していくことが予想され、自治体の窓口等の日常業務についても、こうした技術を使ってより簡略化・迅速化が可能になってくると思われる。昨年からマイナンバーを使った情報連携の本格運用が開始されており、今後はマイナンバーカードの普及も含めて、更なる利活用を進めていく必要がある。	情報システム課
8	地域公共交通活性化事業	A	52,569	55,381	2,812	ひまわりバスの利便性向上のための路線再編に向けて、地域公共交通網形成計画を策定し、地域住民と共に、今後の公共交通のあり方等について話し合いを行ってきた。また、地域公共交通会議では、交通事業者や地域住民や各種団体の代表者から話を聞き、今後の公共交通のあり方を検討してきた。	とよあけ創生推進室
23	予算編成事務	A	6,101	6,813	712	未来の市民に豊明市に住み続けたいと思ってもらえるようにするため「未来への前進予算」と題して、人づくり、街づくりを進めるための予算編成を行った。また平成28年度に引き続き、各部ごとに包括予算を示し、一定の権限と責任を与えることで、予算執行に関して創意と工夫、スクラップアンドビルドを促した。	財政課
24	財政運営・地方債事務	A	2,722	3,114	392	少子高齢化社会の更なる進展により、扶助費の伸びや今後の税収の伸び悩みが懸念される。また、東部知多クリーンセンターの建て替えに伴う負担金の増加や公共施設の老朽化に伴う維持管理や改修費用の発生、さらには近い将来必要となる公共施設の一斉更新に伴う費用をどう確保していくのか等、基金の管理や地方債の発行など将来を見据えた財政運営を行ってきた。	財政課

※事業が関連するめざすまちの姿の番号です。
「2_進捗状況」から「5_差」の内容は、各所属の中施策評価書からの転記です。